

## 自然教室チームだより

佐保台小 校庭の自然観察会  
実施報告

6月24日第7回目となる校庭の自然観察会を行いました。梅雨の季節であり雨が心配でしたが、晴れて良い日になりました。参加児童も前年よりぐんと増え、58名となりました。

「自然の不思議にたくさん触れてほしい、昔からの自然遊びを楽しんでほしい、自然の素材を使った工作も楽しんでほしい」そうした私たちの想いを伝えるために、このたくさんの方々にどう対処していくか、それが最大の課題でした。



取り上げたポイントは①クズ（私たちとの関わり、いろいろな形の葉っぱを使ったジャンケン、葉っぱのポン）、②マツ（いろいろなマツボックリ、クロマツとアカマツの違い、松葉のお相撲）、③ドングリ（ドングリの赤ちゃんの発見、校庭にあるドングリの実物、いくつかのドングリクイズ）、④ユノテガシワ（木の形・実の形の不思議、花から実への変化）、⑤アベリア（実の形を模したヘリコプター飛ばし）の5つでした。それぞれ楽しんで参加してくれました。

その後、校庭にもある自然素材を利用したクマのペンダントを作りました。みんな夢中になって目・耳・鼻を付けていました。

なかなか大変な観察会で、反省事項もたくさんありましたが、スタッフ一同しっかり準備を進めたこと、そして放課後教室の皆さんのすばらしい協力があったことで無事楽しい観察会を行うことができました。（倉田 晃）

## OP:平城宮跡イネ科植物の観察会

「イネ科植物の『美しさ』を知ろう！」をテーマに、6月16日佐藤庄八さんの案内で平城宮跡のイネ科植物観察会を実施しました。

何分地味な分野ですので、参加者もあまりないかと思っていたのですが、案に相違して11名の方々に参加していただき、賑やかに、また充実した観察会となりました。

平城宮跡はイネ科植物の宝庫ともいえるフィールドで、今回も多少時期外れながら、2時間という短時間の中で、23種に出会うことができました。

佐藤さんからイネ科植物の基本的な構造の説明を受けた後、今まで見たこともなかったネズミムギやスズメノヒエの花をルーペでじっくり見たり、ハルガヤの出すクマリンの匂いを嗅いだり、オギやヨシの葉っぱに触って感触を確かめたりで、五感をたっぷり使った観察会でした。

参加したみなさんも「あんまりたくさんの種類があるのでびっくりした」、「懸命に花を咲かせている姿を始めてみる事ができた」、「急がず、慌てずじっくり観察したのがとても良かった」、といった感想を語っておられました。（倉田 晃）

9月自然観察会 奈良公園  
巨樹・巨木巡り（予告）

日本の環境省が調査上での巨樹・巨木を定義している。それによると地上1.3メートル（胸高）での幹回りが3メートル以上の木を巨樹・巨木と定めている。

一説によると奈良公園内の巨樹・巨木と呼べる大木は300本近くにも上ると言われている。

9月奈良公園の巨樹・巨木巡りを企画します。

長い歴史を生き抜いた巨樹たちに、さあみんなであいに行こう！！

【集合日時】平成27年9月29日午前10時

【集合場所】近鉄奈良駅、地上部行基菩薩像前

【観察ルート】奈良公園一帯を楽しく探索

【持ち物】弁当、飲み物、暑さ対策を忘れずに！

（辻本 信一）